

柳橋連合市場協同組合

どんな商店街？

柳橋連合市場は、“博多の台所”として親しまれる活気あふれる市場で、鮮魚や青果、明太子など博多の味が勢ぞろいしています。威勢のよい博多弁が飛び交い、プロから一般客まで賑わう昔ながらの対面販売が魅力です。

また、飲食店やイトインも充実し、観光客でも気軽に立ち寄れる賑わいスポットであるとともに、博多駅からのアクセスも良く、お土産探しにも最適な場所です。



ぜんざい祭り

市場を身近に感じてもらうために

1. 商店街の課題

新型コロナウイルスなどの影響により、地域との関係性が稀薄となっていることが課題。特に近隣である春吉小学校と祭事等を通しての接点がなくなってしまう状況。

2. 「ぜんざい祭り」を開催

日頃よりこの市場を利用いただいているお客様に対して、当市場の和菓子店で国産の食材のみで作っている本格的な「ぜんざい」を感謝の意味を込めて無料配布しました。

また、隣接する春吉小学校の児童を招待し、「ぜんざい」を振舞うことで、柳橋連合市場の魅力を感じてもらいました。



3. 効果があったと思われること

春吉小学校の全校児童(約180名)と一般のお客様(インバウンドを含む)のイベント来場者数が、令和6年度:600名から令和7年度:700名に増加しました。また、予定時刻より前に用意した人数分(700名分)全ての配布が終了するほどイベントは大盛況でした。

その他にも、近隣の会社員の方やインバウンドの方々も数多く来場していたため、柳橋連合市場の魅力を感じることができたと思います。



4. 来街者の声・会員さんの声

少し敷居が高いと感じていましたが、このイベントをきっかけに柳橋連合市場の魅力を感じることができました。今度はぜひ食べ歩きなどもしてみたいと思いました。

このイベントをきっかけに、新規のお客様とコミュニケーションを取ることができて良かったです。また、地域の小学生も来場してくれたので、今後も地域との結びつきを大切にしていきたいと感じました。

5. 反省点や今後の取り組み

本事業を通して、消費者の方が本物の食材に手間をかけることに価値があると感じるきっかけになれば嬉しいです。今後も国産の食材の良さを伝えるとともに、この市場の商品の魅力を発信し続けたいと考えています。